



はれるんマガジン

～気象・地震に関わる素朴な疑問に答えます～ 発行：福岡管区気象台

今月の素朴な疑問

今年の桜の開花はいつですか？

まだまだ寒い日が続いていますが、福岡では梅の花も咲き始め、次第に春の足音が聞こえてきています。春になると桜の開花が気になる方も多いと思います。今月は、そんな桜について、誰がどのように観測しているのか、地球温暖化で桜の開花に影響はあるのかなどを紹介したいと思います。

桜の開花や満開は誰がどのように観測していると思いますか？桜の開花や満開は気象台の職員が目を見て観測しています。気象庁では、季節の遅れ進みや、気候の変化などを知るために、植物の開花、満開、紅(黄)葉、落葉の観測をしています。桜の開花についてはよくニュースにもなりますが、その他にもウメ、アジサイ、ススキ、イチョウ、カエデの合わせて6種目の植物の観測を

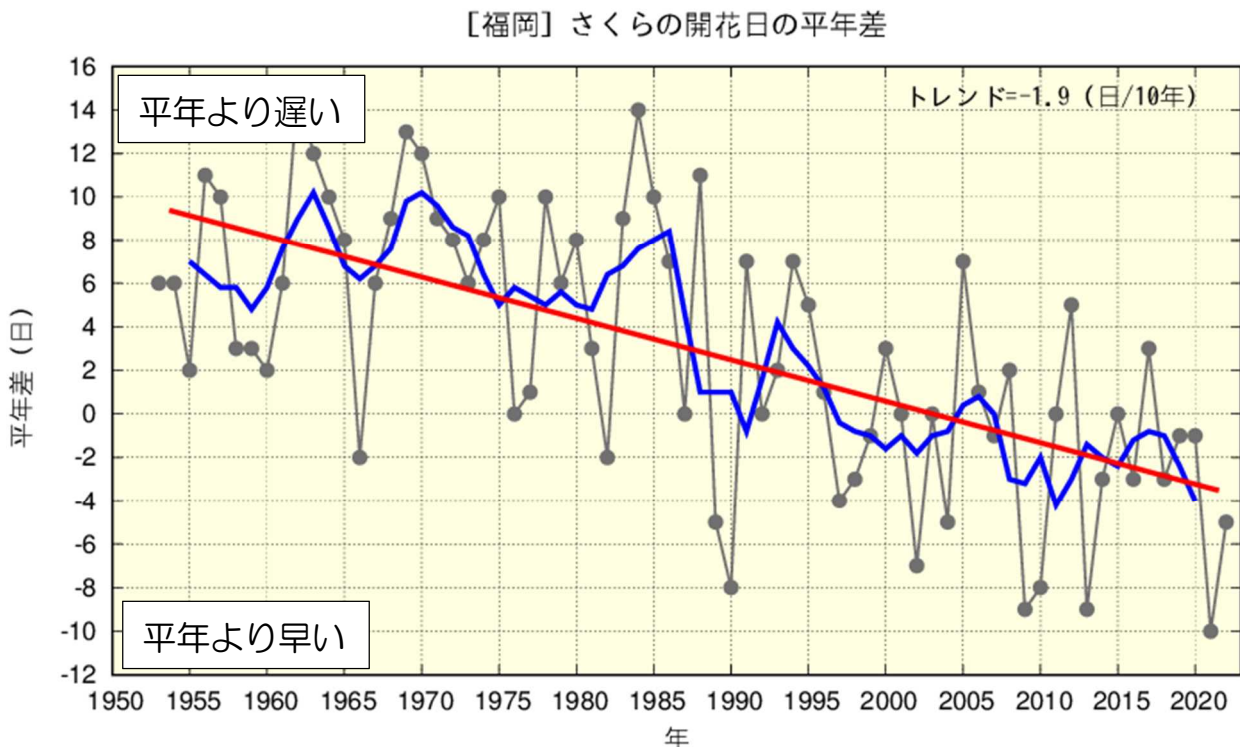


ソメイヨシノの標本木(福岡管区気象台)

を行っています。開花などを観測するために、「標本木」という基準となる木を決めて、毎年同じ木で観測しています。全国の気象台で標本木を決めており、福岡県の桜の標本木は福岡管区気象台の敷地内にあります。

桜にも色々種類があるのですが、福岡管区気象台で観測しているのは「ソメイヨシノ」です。桜の開花は5~6輪以上が咲いた初めての日としており、満開は80パーセント以上が咲いた最初の日と決めています。福岡の桜の開花の平年値は3月22日、満開の平年値は3月31日となっており、時期が近付くと気象台の職員はドキドキ、わくわくしながら観測をしています。

福岡の桜の開花は近年30年で約1週間早くなっています。年々の開花日のグラフを見ると、近年ほど早く開花する日が多くなっており、桜の開花が早まっている様子を見ることができます。



ソメイヨシノ(福岡)の開花日の年変化

今回は桜の開花について紹介しました。お気づきの方もいるかもしれませんが、表題にあった「今年はいつ開花するの?」の疑問に答えておりません。以前は気象台からも開花予想日を発表していましたが、今は開花や満開の観測のみとなっています。桜の開花予想についてインターネットで検索すると、簡易的な予測方法もあるようです。皆さんご自身でも開花予測をしてみたいはいかがでしょうか?

ご意見をお待ちしています

問合せ先

〒810-0052 福岡市中央区大濠 1-2-36

福岡管区気象台地域防災推進課はれるんマガジン編集部

電話: 092-725-3614

e-mail: fukuoka_bousaichousa@met.kishou.go.jp

次回の発行は2024年4月の予定です。